

工学部 工学科

# 建築学コース

地元長崎をベースにした学びを展開し  
芸術的センスと工学的力量が融合した建築士を養成。

## ▼将来像

- 建築士になりたい
- 建設・住宅業界に関心がある
- 街並みに興味がある
- 古民家を活かしたい
- 建物の耐震化を図りたい

## ▼目指せる資格

- 一級建築士
- 二級建築士
- 一級建築施工管理技士
- 技術士
- 高等学校教諭一種免許状(工業)

本学では、建築士の受験に必要な指定科目の授業が、バランスよく計画されています。また、建築士の試験には、学科の試験と設計製図の試験がありますが、学科の試験を意識した授業や設計製図の試験と同様に実際に図面を描く授業が数多くあります。

## カリキュラム

1年次		2年次		3年次		4年次	
学 び の 特 徴	大学生活に慣れると同時に、建築学分野で学ぶための基礎を学びます。「工学フォーラム」の授業は、大学生活の導入教育です。少人数のグループに分かれ担当教員と共に活動します。建築研修旅行では優れた建築物を体感しつつ、コミュニケーションをはかります。						
	建築計画、構造力学、環境工学など専門分野の基礎的科目を学びながら、身近な建物を自ら考え設計します。「建築設計製図ⅠA」の授業では、所定の期限内に各自の設計案をまとめ、その図面を作成します。またグループで模型製作をします。						
	建築施工、建築設備基礎などの必修科目と、各自に応じた選択科目を学びます。「建築設計製図ⅡB」の授業では、比較的規模が大きく、機能が複雑な施設の設計を行います。「建築学海外研修」では、学生の要望を踏まえヨーロッパなど海外を訪れ建築・都市・町並みについて学びます。						
	これまでの学びを活かして、卒業研究に取り組みます。論文か設計から一つのテーマを選び、指導教員のもとに、卒業研究を進めます。						
	基礎科目						
専 門 科 目	基礎科目	●プログラミング基礎	●微分方程式				
	計画・意匠系	●建築計画 A	●建築計画 B	●都市計画 ●西洋建築史 ●日本建築史 <sup>C</sup>			
	建築製図	●建築製図 A・B	●建築設計製図ⅠA・ⅠB ●建築 CAD <sup>B</sup>	●建築設計製図ⅡA・ⅡB ●建築設計製図SA・SB			
	環境・設備系		●環境工学Ⅰ・Ⅱ	●建築設備基礎 ●建築設備計画			
	材料・構造系	●建築一般構造	●構造力学Ⅰ ●木質構造 ●建築材料	●構造力学ⅡA・ⅡB ●鉄筋コンクリート構造 ●鋼構造 ●建築施工			
総合系	●図学 ●工学フォーラム ●建築概論 ●造形デザイン ●工学概論	●建築法規 ●技術と倫理	●住生活文化論 ●現代建築事情 ●建築学海外研修 ●建築学演習	●卒業研究Ⅰ・Ⅱ ●研究ゼミナール			

※(上記)専門科目に加え、共通科目があります。

## 専任教員

山田 由香里 教授	●専門分野/建築意匠・建築史、町並みや歴史的環境を活かしたまちづくり、歴史的建造物の保存修理・復原設計 ●指導した近年の卒業研究テーマ例など/佐賀城本丸御殿、御小座・御風呂屋の復元
橋本 彼路子 教授	●専門分野/建築設計・意匠・建築計画学 ●指導した近年の卒業研究テーマ例など/市営住宅の参画から地域コミュニティへ 一日見地区のコミュニティ
李 桓 教授	●専門分野/地域計画 ●指導した近年の卒業研究テーマ例など/長崎新地中華街の活性化に関する計画学的研究
藤田 謙一 准教授	●専門分野/建築構造、海洋建築、地域防災 ●指導した近年の卒業研究テーマ例など/連結式浮体式海洋建築の実海域における居住性評価
田中 翔大 講師	●専門分野/建築・都市環境設備計画 ●指導した近年の卒業研究テーマ例など/長崎市内のピーク電力負荷発生時間帯の分析

## ■芸術的センスと工学的力量の融合

建築には、芸術的なセンスと、工学的な技術が必要です。そのための学習として、芸術的分野としては計画・意匠を、技術的分野としては材料・構造・環境・設備および施工を、総合的に学びます。当コースは「長崎思考」を大切にしています。長崎の街に求められ、長崎を魅力ある街に変える人材を育てると同時に、地域企業等との共同プロジェクトに取り組んでいます。

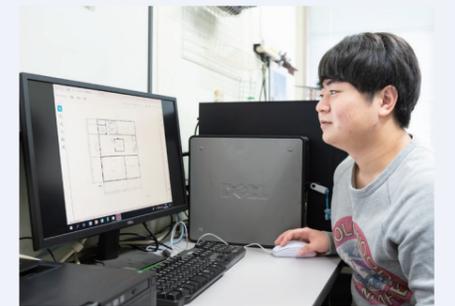
坂の街であり、また鎖国時代から海外に開かれ文化的に多様性のある長崎は、建築を学ぶには絶好の都市です。斜面の多い地形には解決すべき課題も求められており、建築的テーマが見つかりやすく、建築士としてのセンスと思考の場として本学の立地は恵まれています。地域の遺産に関わる研究や、海洋建築物に関する研究、都市の省エネルギー化に関するシミュレーション実験を行っています。

## My favorite curriculum 「私がハマったカリキュラム」



構造力学Ⅰ・Ⅱ

地震大国日本だからこそ  
しっかり学びたい大事な科目。



建築の際には、建築物が崩壊しないように基準値を守る必要があります。「構造力学Ⅰ」は、建築物に荷重が加わった際に、支点・反力を計算して建築に必要な数値を導くための知識を学ぶ科目です。地震大国日本においては、安全性を確保する上でとても大事な知識です。私自身、計算することが好きなので取り組みがよいある授業でした。教科書の重要ポイントにはメモを付けたり、マーカーでチェックしたりしています。「構造力学Ⅱ」はその応用で、たわみや引っ張りの断面2次元モーメントの計算も行います。これまでとは異なる公式、またトラス構造やラーメン構造なども出てきて、さらに内容が複雑になります。

## 平田 隼介

4年(2023年12月取材時) /  
長崎県立西陵高等学校出身

## Pick Up! Curriculum



### A 建築設計製図ⅠA

設計課題の製作を通して建築設計の能力を養い、建築デザインの面白さを学びます。最初は簡単な建築から入り、どのように建築的にまとめるか実践し、また、グループで模型製作をして建築表現を体得します。



### B 建築CAD

コンピューターの基本操作やCADの操作を理解し、効率的に表現豊かな図面を描くことを目指し、二次元CADの作図法を習得するとともに、これを用いた住宅設計表現法を習得します。



### C 日本建築史

広く建築技術者の素養として求められる日本建築の歴史および歴史的な遺構について学習します。日本の建築文化の発展や各時代での建築様式、構造形式などについて理解し、説明できることを目指します。